



# 東村山市子ども読書活動推進計画

第2次（平成22年度～26年度）

進捗状況報告9 『きょういく東村山』より

『学校図書館専任司書』活躍中



## 配置体制

「司書の先生が本を紹介してくれた」「司書の先生と一緒に調べてみよう」教員や子どもたちの間に、学校司書の存在が浸透してきました。平成23年秋から市立小・中学校全校に「学校図書館専任司書」を配置し、2年8か月が経ちました。

1校に週2日ずつ配置し、1人が2校を兼務、うち2人は担当校の他、中央図書館で市立図書館司書と共に各校への支援業務を行っています。

## 学校司書の活躍

学校司書は担任と連携して、授業で学校図書館の利用方法や分類の仕組みを子どもたちに教えています。本の戻し方を聞くと、「ラベルを見て戻すんだよ」と答える子どもたちが増え、利用指導の成果が現れてきました。

また、読書への動機付けとして読み聞かせやブックトーク、図書館だよりの発行などもしています。お便りには市内在住の絵本・紙芝居作家やベみつのりさんに描いてもらった学校図書館キャラクター「ブックン」も登場し、学校図書館のミニ知識を教えてください。

季節の飾り付けや本の修理など学校図書館の整備は、ほとんどの学校が保護者や地域の図書ボランティアの協力を得て進めています。

## 各校への支援

市立図書館からは、本の貸出はもちろん、年間の授業の流れに沿って、教科書関連本のリストや様々な調べ学習用のツールを送り、学校司書の業務を支援します。例えば小学校3年生が百科事典

の使い方を習う場面では、演習用のワークシートを、中学校で校外学習に行く時には、関連資料リストを提供し、活用してもらいました。

## チーム力で充実を

また、各校の実践報告も共有し、12人の学校司書と市立図書館司書、教育委員会の関連部署がチームとして動いていることが当市の特徴です。現状では週2日の配置で課題もありますが、どの子どもも学校図書館を通して、読む楽しさ、調べて知る楽しさを習得できるように、今後も事業の充実を図っていきます。

『きょういく東村山』第70号より

平成26年6月15日号

編集・発行 東村山市教育委員会